

令和7年度 弘前市総合計画審議会 議事概要（第4回）			
日 時	令和8年1月29日（木） 17時30分～18時50分		
場 所	弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室及びオンライン	傍聴者	0人
出席者	委員 (14人)	【会場出席（9人）】 森会長、藤田委員、吉田委員、田澤委員、鈴木委員、 小山委員、斎藤委員、石岡委員、成田委員 【オンライン出席（5人）】 今村委員、高島委員、崎野委員、清藤委員、外崎委員	
	事務局 (6人)	企画部長、企画課長、企画課参事、企画課総括主査、 企画課主査、企画課主事（6名）	
	その他		
会 議 概 要			
1 開 会			
2 議 事			
(1) 弘前市総合計画後期基本計画改訂案について			
○主な質疑等の内容は以下のとおり。（「・」委員意見、「⇒」事務局回答）			
【政策①学び】			
<ul style="list-style-type: none"> ・校内教育支援センター支援員配置事業について、現状、各学校に支援員は配置されているのか。配置されている場合は、どの位増えるのか。それとも、新たに配置するものなのか、教えていただきたい。 ・なぜ不登校になるのか、その原因を捉えないといけない。対策として、支援員を増やせばいいということではないので、担当課に伝えて欲しい。 			
⇒・これまでも、心の教室相談員など様々な支援員が配置されているが、今回は校内教育支援センター支援員として新規で配置する事業となる。来年度については、4校に対して4人の配置という計画となっているが、教育委員会としては、課題・効果等を検証しながら徐々に増員していきたいと考えている。			
<ul style="list-style-type: none"> ・担当課へは、本事業の実施とあわせて、不登校の根本的な原因についても検証していただくよう伝える。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・校内教育支援センター支援員配置事業について、4校への配置で十分なのか。徐々にでも、支援員を増やして欲しい。 			
⇒・校内教育支援センターは、設置を検討する学校が増えている。今回は新規設置の4校に対して支援するものだが、その4校についても教育委員会で、学校への開			

き取り等を踏まえて選定した。教育委員会としては、課題・効果等を検証しながら徐々に増員していきたいと考えている。

【政策②文化・スポーツ】

質疑なし。

【政策③子育て】

質疑なし。

【政策④健康・医療】

質疑なし。

【政策⑤福祉】

質疑なし。

【政策⑥雇用】

質疑なし。

【政策⑦農林業】

・取組内容に、

「・りんご以外の果樹及び施設園芸等による高収益作物の導入を推進します。」とある。

その一方で、

「・需要に応じた主食用米の生産と、農地の有効活用に向けた大豆や高収益作物等の生産振興を推進します。」を、

「・需要に応じた米や大豆等の生産振興を推進するとともに、生産性向上技術等に係る現地検討会や勉強会等を通じ、地域を担う水田農業者のネットワークの強化を図ります。」

に修正するとのことで、「高収益作物」の文言が削除されることになる、という理解でよいか。

⇒仰るとおり、後段の「高収益作物」の記載は削除される。

・「高収益作物」の文言の扱いについて、一貫性がないように思う。

個人的には、「高収益作物」という文言は残して欲しいと思っている。

・「ひろさき水田ネットワーク形成事業」の目的、目標は何か。

農地の集約、技術の向上、担い手の確保・育成などなのか。

しっかりと目的、目標を持って取組を進めて欲しい。

⇒・水田農業を支える人材の育成や、生産者どうしの連携による新たな取組の創出

などが目的であり、ゆくゆくは、生産基盤の強化を目的にしている。

- ・県産業技術センターの方を講師に招き、勉強会を開催することなどを計画している。

- ・「りんご鳥害実態調査事業」に新たに取り組むとのことだが、一市民としては、クマ対策、クマの調査にもしっかりと取り組んで欲しいと思っている。
- ⇒・ハンターの捕獲に対して報奨金を交付する有害鳥獣捕獲報奨金について、サル及びクマに加え、イノシシ及びニホンジカを追加することとしている。
- ・このほか、クマなどの出没時のパトロールや捕獲活動等を実施するガバメントハンターを新たに雇用する計画である。

- ・クマ対策について、もっと大規模に、重層的な対策を講じなければならないのではないか。計画の改訂として、クマ対策が見えてこない。農林部だけでなく、市を挙げての対策が必要なのではないか。
- ⇒・来年度もクマの被害が発生するものと予想されている。クマ対策の強化について、農林部が中心となって、全庁でしっかりと検討したい。

- ・ひろさき「農の魅力」体験事業（地域産業魅力体験事業）について、子どもたちが農作業に触れることができる、よい機会だと思っている。終了するとのこと、残念である。
- ⇒・弘前観光コンベンション協会が類似の事業を実施しており、市としては事業を終了することとしたもの。
- ・子どもの頃の農作業体験は重要であると考えているので、いただいたご意見を担当課に伝える。

【政策⑧商工業】

質疑なし。

【政策⑨観光】

- ・観光DXについて、ソフト、ハードの両面から取組を進めるとのことだが、飲食店を対象にした取組もあるのか。キャッシュレスに対応していないなど、観光客を受入るにあたって受入環境が整っていない店舗もある。しっかりと観光消費してもらうために、取組を進めて欲しい。
- ⇒・現時点の想定としては、宿泊施設や、観光施設を運営している事業者が対象となっており、スマホ決済できるレンタサイクルや、観光情報のデジタルサイネージなどの整備を想定している。
- ・最近の大雪で、新青森駅から弘前駅まで奥羽本線の運休が続いている。バスもなく、タクシーしかない。冬の観光シーズンの、新青森から弘前までのアク

セスについて、どうにか改善できないものか。

⇒・ここ数日大きな問題になっており、新青森駅の駐車場に駐車できなくて、旅行を断念したという報道もあった。運休情報等についても、インターネットで調べても出てこなかったり、駅に行かないとわからないなど、市民が大変不便に感じている。

・市としては、毎年度、青森県に対する重点要望事項として、国及びＪＲ東日本に対し、奥羽本線の機能強化等について要望活動を行っているが、今年度から、雪害対策の強化等による冬期間の安定輸送の確保と、列車の遅延・運休時の利用者への適時・適切な情報提供を要望内容に追加した。

・また、奥羽本線運休時の新青森・弘前間の代替バス輸送について、現在、弘前市旅館ホテル組合とＪＲ東日本秋田支社、弘南バスの３者が協議をしており、宿泊者が料金の一部を負担し、それに対し市が支援する形で、宿泊客をバス輸送することができないか検討中であると伺っている。

【政策⑩環境・エネルギー】

質疑なし。

【政策⑪安心・安全】

質疑なし。

【政策⑫雪対策】

質疑なし。

【政策⑬都市基盤】

質疑なし。

【政策⑭景観・文化財】

質疑なし。

【政策⑮移住・交流】

質疑なし。

【政策⑯市民協働】

質疑なし。

(2) その他報告(次期SDGs未来都市計画について)

○主な質疑等の内容は以下のとおり。(「・」委員意見、「⇒」事務局回答)

・計画の中に、太陽光発電は出てこないのか。

市役所の庁舎に設置されている太陽光パネルの効果をPRしていくべきではないか。

⇒・市では、令和6年2月に「ゼロカーボンシティひろさき」を宣言し、民間事業者等を交えた会議体をつくりながら、様々議論を進めている。また、脱炭素を進めるためには当市においても、太陽光発電を増やすことが重要になるということで、計画を策定し、現在その計画に基づいて取組を進めている。

・また、今年度、国の補助事業を活用し、第三大成小学校に太陽光パネルを設置する実証事業を行っている。今後、市民の方々も脱炭素に取り組んでみようかなと思っただけのような取組が重要となってくるので、それらの効果等もしっかり検証しながら、市民に情報発信していただくよう、担当課へ伝える。

・りんご産業のAI、DX推進の取組は、実装されたのか。

取組を始めてからだいぶ経過するので、進展を希望している。

⇒VR剪定学習支援システムは、現在市とJAつがる弘前で保有している。引き続き、研修会の実施や、端末の貸し出し、体験などを通じて、普及展開を図っていくこととしている。

・計画期間を1年延長しても、国の補助は受けられるのか。

⇒認定初年度の自治体SDGsモデル事業のような、有利な交付金は初年度限りだが、引き続き、国の交付金（地域未来交付金）の活用が可能であり、SDGs未来都市計画に基づく事業であれば、弾力措置の適用対象となる。

・りんご娘の特別授業について、実施している保育園と、実施していない保育園がある。

⇒今年度は、市のSDGs応援ソング「リンゴのうた」のCDを市内の幼稚園・保育園等に一斉配布するタイミングで、市内保育園等のうち、市が特別授業を委託している(有)リンゴミュージックと連携関係にある石川こども園において、特別枠として授業を実施したものである。

3 閉 会